



ぴよ～ん ぴよん♪

最終号

令和8年3月26日
うさぎ組
佐伯 聖子(記)



暖かい日差しや風が吹き、小鳥のさえずりと共に春を感じる季節になりましたね。
先日、今年度最後の身体測定をしました。大きくなったなあ、と、この1年の成長を感じ嬉しくなりました。子どもの成長は早いものですね。うさぎ組の子ども達と過ごす時間もいよいよカウントダウンにはいりました。残りの時間もみんなと楽しく過ごしていきたいと思います。



☆☆大きくなりました☆☆

部屋のカレンダーを見ながら「3月が終わってお花が咲く4月になったら、みんなは赤バッチさんになるんだよ。」と話をすると、「やったー!」「お2階で遊ぶん?」など、楽しみな様子の子も達。まだ幼かった子ども達も、もうすぐ赤バッチの年少さんになるなんて…あつという間でビックリしますね。内履きズックを履いて2階に遊びに行く度に、「楽しかったー!」「また行こうね。」「今日は〇〇組でお姉ちゃんと遊んだよ。」などと笑顔で話す子ども達に、私達も嬉しい気持ちになりました。最初は部屋に入るのも緊張して一緒に手を繋いで入っていましたが、最近では2階の部屋や遊戯室に行くと、自分の好きな遊びを見つけて元気に遊ぶ姿が見られるようになりました。遊び方やおもちゃを片付ける場所が分からない時は、周りのお兄さんお姉さん達がすぐに気づき、優しく教えてくれます!お兄さんお姉さんの名前も少しずつ覚え、呼んでみたり、呼んでもらったりして、仲良く遊ぶ姿も♡4月の進級に向けて、子ども達が安心して新しい生活をスタートできるよう、これからも援助していきたいと思います。また、保護者の皆さんも、今までと違う生活に不安を感じておられると思います。心配なことや気になることなどがありましたら、いつでもお聞かせくださいね。



♪たのしいな♪うれしいな♪

『お寺の和尚さん』の手遊びや『いすとりゲーム』など、友達と一緒に楽しめる遊びやゲームをしています。『お寺の和尚さん』では、自分と友達の手を順番にパチンと合わせることが難しく、お互いに同じ手を出したり、それぞれのタイミングが合わなかったりしていましたが、友達と気持ちを合わせようとしていたり、お互いの目を見ながらタイミングを考えたりしていく中で、楽しみながら気持ちも合わせられるようになってきました。また『いすとりゲーム』では、ゲームをする中でルールを理解し、素早く椅子を見つけて座ることを楽しんでいました。椅子に座れず涙が出ることもあります。 “勝つこともあれば負けることもある。次頑張れば大丈夫!”と伝えることで、「がんばれー!」と友達を応援していましたよ。ルールのある遊びを通して、友達と一緒に遊ぶ楽しさや、力を合わせる面白さや喜びなどを感じていってほしいと思っています。また、給食では食べられる量を自分で選んで席まで運んでいます。こぼさないように、友達とぶつからないように、そーっとそーっと慎重に運んでいますよ。



朝、顔を合わせると「おはよー!」と笑顔で抱きついてきてくれ、「今日ママと来たよ!」「パン食べてきたよ。」「ここ痛いのにしたんぜー。」などとたくさん話をしてくれる子ども達。嬉しい、楽しい、悲しい、美味しい、プン、悔しい、などの気持ちを全身で素直に表現してくれる子ども達。そんなうさぎ組の子ども達と過ごした日々は、ビックリするくらいあつという間で、とっても楽しくパワーと笑顔がたくさんもらった毎日でした。そして、保護者の皆様には、ご理解とご協力、温かい言葉をたくさんいただき深く感謝しております。一年間、ほんとうにありがとうございました。4月からはピカピカの赤バッチの年少さん!楽しみですね(^-^) これからも、お子様のすこやかな成長を心よりお祈りしております。

うさぎ組担任 佐伯 聖子・宮本 仁美